

ネイティブ・シュードモナス属リポタンパク質リパーゼ

Cat. No. DIA-210

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

リポタンパク質リパーゼ (LPL) (EC 3.1.1.34) は、臍リパーゼ、肝リパーゼ、内皮リパーゼを含むリパーゼ遺伝子ファミリーの一員です。これは水溶性の酵素で、キロミクロンや超低密度リポタンパク質 (VLDL) に見られるリポタンパク質中のトリグリセリドを、2つの遊離脂肪酸と1つのモノアシルグリセロール分子に加水分解します。また、キロミクロン残渣、コレステロールが豊富なリポタンパク質、遊離脂肪酸の細胞内取り込みを促進する役割も果たしています。

用途

この酵素は、L- α -グリセロリン酸オキシダーゼおよびグリセロールキナーゼと結合することで、血清中のトリグリセリドの酵素的測定に有用です。通常、反応はpH約7.0でテスト(3.0ml)あたり2.5~3.0単位の酵素を使用することで、37°Cで5分以内に完了します。

別名

リポタンパク質リパーゼ; LPL; EC 3.1.1.34; クリアリングファクターリパーゼ; ジアシルグリセロールリパーゼ; ジグリセリドリパーゼ

製品情報

由来

シュードモナス属

外観

淡褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

EC番号

EC 3.1.1.34

CAS登録番号

9004-02-8

分子量

approx. 134 kDa

活性

グレードIII 20U/mg-固体以上 (安定剤約80%を含む)

混入物

フォスファターゼ < 1.0×10⁻³% カタラーゼ < 2.0×10⁻²% NADHオキシダーゼ < 1.0×10⁻³% コレステロールオキシダーゼ < 2.0×10⁻³%

等電点

5.95±0.05

pH安定性

pH 7.0-9.0 (25°C, 20時間)

最適pH

7.0-9.0

熱安定性

55°C未満 (pH 7.0、10分)

最適温度

45-50°C

阻害剤

Hg⁺⁺、Ag⁺、イオン性洗剤

安定化剤

Mg⁺⁺、ナトリウムコレート、ウシ血清アルブミン

保管・発送情報

安定性

-20°Cで少なくとも1年間安定しています